

家庭数



令和7年12月12日（金）

学校だより 第17号

校長 山下 恵子

高槻だより

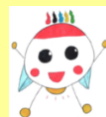


高槻小学校学校教育目標
「心豊かで 自ら学ぶ たくましい 子どもの育成」

高槻っ子スローガン



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

後期前半もあと少し。さまざまなことにチャレンジ・・・

大きな行事の運動会が終わり、学習や生活に、取り組んでいる子どもたちです。そのような中、学校では、地域の方、県や市の企業、育英団体の方々による、GT（ゲストティーチャー）をお招きして、様々な体験や経験をしています。学校以外の他者との関わりや触れ合いの中で、改めて発見すること、感じることができる機会と場をいただきました。

人権授業参観 ありがとうございました。

12月3日（水）は、人権授業参観でした。本校では12月1日（月）より人権週間の取組を行っていました。月曜日に人権週間についての意義と目的を全校一斉で伝え、2日（火）より給食時間に差別やいじめをしない心をテーマに「明日への伝言板」を視聴し、給食時間、読書タイムを活用して、子どもたちが作成した人権標語の紹介をしました。

人権授業参観では、各学年「新版いのち」や「北九州子どもつながりプログラム」や「ジェンダー平等教材」を使って授業をしましたが、6年生は地域の方をGTに、「セラピューテックケア」を親子で取り組んでいただきました。セラピューテックケアとは、薬剤や道具を使わずに、両手のぬくもりだけで行うシンプルかつパワフルなケアです。手のぬくもりを通じて安らぎを提供することを目指しています。今回、保護者の方にもご参加いただき、親子でのふれあいを行っていただきました。「こそばい」「はずかし」などの声もありましたが、おうちの方に優しくなでてもらって「気持ちいい」「うれしい」という声もあり、触れることに重点を置いて手のぬくもりを通して、心のぬくもり伝えることができる素敵なコミュニケーションだなと思いました。



3日（水）の15時から、人権講演会を行いました。レインボーミル代表の木村 愛美さんに講話をお願いしました。レインボーミルは、障害のあるお子さんの親を支援するコミュニティです。誰もが、互いに理解し、認め合い助け合える。そして、誰もが子育てをしやすいまちづくりを目指して、活動されています。お話を聞いて、「子どもを理解すること。そのためには、家庭での様子、学校での様子を互いに知ること。知ること、初めて理解が生まれる。多分こうだろう、どうせわからない。ではなく、「知る」「気づく」ことが大事。そして、知ってもらうためには話すことが大事」だと思いました。子どもは、家庭でも、また兄弟の中でも、地域でも、学校でもそれぞれ違う面を見せているかもしれません。しかし、それらすべてはその子の実であり、学校だけでは指導が行き届かないことも多くあるかと思います。家庭、地域、学校が協働、共有して、子どもの見守りを行っていきましょう、お力を借りることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

寒い中、ご参観くださった保護者の皆様、講演会に参加いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

令和7年度人権標語〈代表児童〉

- 1年 ごとう とうか「やめようよ あそんだほうが たのしいよ。」
- 2年 うめ崎 千華「ゆるさない せんそうする人 かなしいな。」
- 3年 富岡 蒼翔「やめようよ。人の悪口。傷つくよ。」
- 4年 梶栗 悠斗「いじめたら 悲しむ人が いるんだよ」
- 5年 三吉 純鈴「人々に ちがいがあっても 平等を」
- 6年 梶栗 綾乃「後先や 相手の気持ち 考えて」

規範意識の授業・薬物乱用の防止授業

8日（月）は4年から6年生まで、SNSやインターネットの使用の仕方、犯罪に巻き込まれそうな事柄などを取り上げ、ネット社会で起きる事件や巻き込まれないための策を教えていただきました。ネットや携帯は、家庭でしっかりとルールをきめようとお話がありました。また翌日9日（火）は、5、6年生で薬物乱用防止の話を行いました。精神保健福祉センターの職員さんが来校し、たばこや風邪薬でも、多量に摂取すると命の危険にさらされることを知りました。

キャリア教育。将来の夢や希望をもって

11月28日（金）に、4、5年生は、「夢授業」キャリア教育を行いました。図書館司書・警察官・自衛官・都市開発、マンション開発・理学療法士・音楽家と、様々な職種の方々が来られ、ブースに分かれて交流しました。子どもたちは、「なぜこの仕事を選んだのか」「大変なことは何か」「どんな時この仕事をしてよかったと感じるか」など、質問しながら、仕事について考えました。知らないことを知る喜びや、働くことの尊さを感じたようです。授業が終わって「理学療法士になりたい」という児童の感想を聞き、来られた職業人の方も喜んでいました。

